

科目ナンバー	C7211	要件	保育必修	授業形態	演習	対象学生	Ⅱ A III C D
授業科目	乳児保育						
実施期	通年	単位数	2単位	授業担当者	米田 紀子		
【科目の概要】							
乳児が「育とうとする小さな生命」であることを基礎に据えて、「発達過程」の理論を学び、育つ姿の裏側、育ちを支える保育者のありようを具体的な事例を基に学習する。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	乳児を理解し乳児の心身の発達についての専門知識を修得している。						1-d
イ	乳児保育に必要な基本的技能と表現力を身に付けている。						2-d
ウ	乳児を取り巻く社会的環境に関心を持ち、情報を的確に収集し、課題を見つけることができる。						3-b
エ	乳児の発達に応じた保育の展開方法や教材等への興味関心を持ち、自らの資質向上に生かそうとしている。						4-c
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	乳児保育について概要説明（授業の取組方）、P P [小さな生命が育ち始める]鑑賞し生命の神秘を知る。			月 日	シラバスを熟読する。（0.3時間）		
2	乳児保育の現状と課題、乳児保育の様々な場を知る。			月 日	身近にいる乳児とその保護者を観察し気が付いたことを記録する。		
3	乳児と保育園の一日（登園から降園まで）を知る。デイリープログラムを学ぶ。			月 日	教科書第2章を読む。（0.3時間）		
4	0歳児の発達の様子、保育所の姿を知る（DVD鑑賞）。			月 日	「保育所保育指針」第2章子どもの発達を読む。（0.3時間）		
5	1・2歳児の発達の様子、保育所の姿を知る（DVD鑑賞）。			月 日	再度「保育所保育指針」第2章子どもの発達を読む。（0.3時間）		
6	乳児（0歳児～2歳児）の発達の様子のまとめ。			月 日	乳児期の発達の過程を学んだ感想を書く。		
7	乳児の心をつかむ指人形を製作する（工夫して自分なりの人形を製作する）。			月 日	イメージ画を作成してくる。裁縫道具用意する。		
8	乳児の心をつかむ指人形を製作する（作った人形を使って発表する。） 獲得を目指す力の確認をする。			月 日	小さなおはなしを考える。		
9	乳児期の保育（おおむね6ヵ月未満の保育）を学ぶ。			月 日	保育所保育指針第2章子どもの発達を読む。（0.3時間）		
10	乳児期の保育（おおむね6ヵ月から1歳3ヵ月未満の保育）を学ぶ。			月 日			
11	乳児期の保育（おおむね1歳3ヵ月～2歳未満の保育）を学ぶ。			月 日			
12	乳児期の保育（おおむね2歳の保育）を学ぶ。			月 日			
13	乳児保育の環境～子どもが落ち着いて過ごせる環境をつくるために～。			月 日	教科書第7章を熟読する。（0.3時間）		
14	乳児保育における保健活動（健康状態の把握、乳児の病気と事故）。			月 日	教科書第8章を熟読する。（0.3時間）		
15	乳児期のわらべうた遊び、ふれあい遊びを学ぶ（奈良の文化を知る）。その1			月 日	幼い頃遊んだわらべうたをレポートする。		
16	乳児期のわらべうた遊び、ふれあい遊びを学ぶ（奈良の文化を知る）。その2			月 日	前回学んだわらべうた・ふれあい遊びを整理する。		
17	保育の計画を学ぶ（保育の計画を知る）～反省的実践者になるために～。			月 日	教科書第9章を熟読する。（0.3時間）		
18	保育の計画を学ぶ（保育の計画作成～自己評価）～反省的実践者になるために～。			月 日			
19	乳児保育と連携（保育所・保護者・地域）を学ぶ。			月 日	教科書第10章を熟読する。（0.3時間）		
20	家庭における子育てを学び、考える。			月 日	教科書第11章を熟読する。（0.3時間）		
21	保育所における育児支援～子育て・子育て支援のために～。			月 日	作りたい玩具を考える。		
22	乳児の発達を促す玩具作り。①グループで相談企画し、計画書を作る。			月 日	材料を用意する。		
23	乳児の発達を促す玩具作り。②計画に基づいて玩具を作る。			月 日	玩具完成のために準備する。		
24	乳児の発達を促す玩具作り。④つどいの広場を訪問し玩具を贈呈する。			月 日	安全面を考えて事前に再調整しておく。		
25	乳児の発達を促す玩具作り。⑤つどいの広場で学んだことを共有する。			月 日	レポート提出。		
26	乳児を取り巻く社会環境を考える（ニュースソースを収集、グループ討議）。			月 日	教科書第12章を熟読する。		
27	乳児を取り巻く社会環境を考える（課題を見つけ、解決の方法を探り合う）。			月 日	2週間分の情報を用紙に記入する。		
28	乳児保育の未来…乳児保育の使命ー子どもの健全な発達の保障ー。			月 日	教科書第13章を熟読する。（各回0.3時間）		
29	乳児保育の未来…乳児保育における戦後の歩み、乳児保育の今。			月 日			
30	乳児保育の未来…子どもの最善の利益とは何か…を問いつける保育者の姿勢。			月 日	ノートを整理する。		
31	試験			月 日			
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
「やさしい乳児保育」早川悦子・池田りな・伊藤輝子 編（青鞥社）				提出物（課題・ノートなど）の内容・グループ作業の成果…30% 試験…40% 授業への関心・意欲・態度…30%			
【参考書・教材】							
「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレール館）							
【履修要件及び履修上の注意事項】							
乳児保育専用のノート（A4）を用意すること。							
【履修上の遵守事項】							
授業外学習のほとんどはノートに記録、適宜提出すること。やむを得ず欠席した場合は、次回授業までに授業内容を事前に確認しておくこと。							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先：NO. 15				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	生命が母体で育つ過程、乳児保育とは何か、乳児保育の現状と課題、乳児の保育園の一日の修得理解。		生命が母体で育つ過程を認識し理解できる。また、乳児保育とは、児童福祉施設における3歳未満児の保育であることを理解する。	乳児保育の現状を知り課題を理解し、その場がどのような場があるか説明できる。	乳児の保育園の1日（登園から降園まで）を知り、デイリープログラムについて説明できる。
ア②	乳児期の発達の特徴とその概要の修得。		児童福祉施設では、乳児期を4期に分けることを知り、0歳児（おおむね6ヵ月までとおおむね1歳3ヵ月まで）の保育所での様子を知り、発達の概要を修得する。	保育所での1歳児、2歳児の様子を知り、発達の概要を修得する。	乳児期4期に分けたその発達特徴を話すことができる。
ア③	乳児期の個人差の理解。		おおむね6ヵ月未満、おおむね6ヵ月から1歳3ヵ月の保育を学び、発達過程を知る。	おおむね1歳3ヵ月～2歳未満おおむね2歳の保育を学び発達過程を知る。	乳児の発達過程を修得するとともに、それぞれ個人差があることを理解する。
イ	乳児の心を動かす人形を使って乳児の心をつかむおはなしの表現。		実習での体験や保育雑誌、授業などから乳児が喜ぶ指人形をイメージしデザイン画を作成することができる。	指人形を、布やボタン、毛糸等材料を工夫して作成することができる。	作成した指人形を使って乳児にわかりやすいお話を作り表現することができる。
ウ	新聞、テレビ、インターネットなどから子どもに関わる情報の収集、整理、課題の明確化		様々な情報源（新聞、テレビ、ネットなど）から乳児に関わる記事を探し、記事の内容を記録し、自分の意見をまとめる。	個々が収集した情報をグループで報告しあい、自分の意見を言うことができる。またその中から課題を見つけることができる。	課題を明確にし、自分たちが今できる解決策を考え合い、述べるることができる。
エ	玩具作成に当たって教材への興味関心の深まり。役割分担と、発達に応じた遊びの展開方法の工夫、実際の乳児の遊びの観察、課題発見。		乳児期の発達を促す玩具を考え、対象年齢、どんな発達を促すのか、テーマ、準備する材料などを表す企画書を作成する。	役割分担して玩具（魚釣りやトンネル、ブロックなど）を作成するが、その過程で発達に応じた遊びの展開を工夫することができる。	作った玩具で「つどいの広場」の子どもたちが遊ぶのを観察し、その成果と課題を的確に掴み文章に表すことができる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					